特集 その1

農林水産大臣賞受賞者の喜びの声

福司（ふくし） 貴徳（たかのり） さん（能代市比八田）

『ネギ（夏扇パワー）』

就農2年目、初出品で最高賞を受賞

経営規模

水稲：2・3 ha
ネギ：35 a
キャベツ：30 a

周囲の絆が繋いだ受賞への道

種苗交換会に初出品したネギで、みごと農林水産大臣賞を受賞した、福司貴徳さん。父親の故・喜徳さんは、種苗交換会で3年連続1等賞に輝き、顕彰者として表彰されているほか、当JAでも『白神の達人』第1号に認定されている、ネギ作りの達人です。しかしその後病気を患い、昨年8月に62歳の若さで逝去されました。貴徳さんは父親の体調の悪化に伴い、2年前帰郷し、農業に携わるようになりました。

「それまで農業の経験は無く、初めは機械もうまく操作できませんでした。地域の諸先輩方やJA青年部の仲間たち、またJA営農指導員や行政などからの指導・協力が無ければ、農業を続けてこられなかったと思います。今回の受賞は、その方々の支えが生んだものです。」と福司さん。

昨年圃場でさび病が発生した経験から、JA営農指導員の指導のもと病害虫防除に力を入れ、高品質ネギの出荷を心掛けました。また連作を行わず、土壌分析や定期的な栽培履歴を付けることで、毎年変化する栽培環境に対応しようとしています。

「まずは教えられた栽培をしっかり計画通り行い、その上で問題点を洗い出すことが重要だと思います。また今回の交換会や部会が行う研修会などを通じて、色々な方の話を聞き、それらを吸収して、長期的な栽培に向けて新しい栽培方法にも挑戦していきたいと思います。」